

上廣・日比谷ライブラリーレクチャー

シリーズ 私の修業時代

著名人が語る無名の時代の日々。どのように思いを定め、どう生きてきたか。どのように生きようとしたか。そしてどう生かされたか。人生の勇気が湧く、生きるヒントが満載の貴重な証言。



「言葉を求め、言葉を超える 言霊の探究の旅～私の修業時代」

鎌田 東二

(上智大学グリーンケア研究所特任教授・京都大学名誉教授)

私は10歳の時に、少年少女用に書かれた『古事記』を読み、大変な感動を覚えました。17歳の時、自転車で四国を横断し、九州をほぼ一周した際、宮崎県の青島に立ち寄った時、『古事記』の中の日向神話に登場してくる神々が、今ここに神社の神様として祀られていることに衝撃を受け、神話と場所(神社)が強烈に接続される体験を持ちました。その1週間後、火山が噴火するような感じで私の内部から言葉が噴き出てきました。以来50年、言葉とは何か、詩とは何か、神話とは何か、超越経験や宗教経験とは何かを問い続けています。この機会に、その探究のプロセスをお話させていただきたく思います。

かまた・とうじ

1951年徳島県生まれ。國學院大學文学部哲学科卒、同大学院神道学専攻博士課程単位取得満期退学。岡山大学大学院医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻単位取得退学。現在、上智大学グリーンケア研究所特任教授。放送大学客員教授。京都大学名誉教授。京都伝統文化の森推進協議会会長。博士(文学)。専門とする領野は宗教哲学、比較文明学、民俗学、日本思想史、人体科学など多岐にわたり、縦横無尽に学問領域を行き来し、独自のあたらしい観点から多様な研究を打ちたてつづけている。石笛・横笛・法螺貝奏者。神道ソングライター。フリーランス神主。著書に『神と仏の精神史』(春秋社)、『神界のフィールドワーク』(青弓社)、『謎のサルタヒコ』(創元社)、『宗教と霊性』(角川選書)、『超訳 古事記』(ミシマ社)、『神と仏の出逢う国』(角川学芸出版)、『歌と宗教』(ポプラ社)、『世直しの思想』(春秋社)、『世阿弥 身心変容技法の思想』(青土社)、『言霊の思想』(青土社)、『天河大辨財天社の宇宙～神道の未来へ』(春秋社)、詩集『常世の時軸』(思潮社)など多数。

日時：平成30年 **8月24日(金)** 19:00～20:30 (18:30開場)

会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール (200名)

参加費：500円 ※千代田区内在住者および学生無料。住所の確認できるもの、学生証等をお持ち下さい。

主催：公益財団法人上廣倫理財団 <http://www.rinri.or.jp>

共催： 千代田区立
日比谷図書文化館 <https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>
 Hibiya Library & Museum

参加申込方法

日比谷図書文化館ホームページの申込みフォーム、電話(03-3502-3340)または、日比谷図書文化館1階受付カウンターにて、講座名、お名前、よみがな、お電話番号をご連絡ください。定員200名(事前申込順・定員に達し次第締切)。キャンセルの場合はご連絡ください。



都営地下鉄 ● 三田線「内幸町駅」A7出口/徒歩3分
 東京メトロ ● 丸の内線 ● 日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口/徒歩3分
 ● 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口/徒歩3分
 JR「新橋駅」日比谷口(SL広場)徒歩10分
 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。